

8/9(土)~8/11(月)  
2泊3日!

国境離島・対馬で  
SDGsを学ぶ



# 令和7年度対馬グローバル大学 SDGs実践塾

## 暮らしと里地・里山の持続可能性を考える3日間



SDGs実践塾では、私たちが直面するさまざまな環境や社会の課題を、国境離島・対馬の現場で学びます。今回は、対馬で取り組まれている耕作放棄地の活用やシカ・イノシシ等の有害鳥獣問題の取り組みなどに着目し、SDGsの視点を活かしながら、持続可能な地域や暮らしのあり方を考えていきます。課題先進地ともいわれる「対馬」を舞台に、当事者の声に耳を傾け、現場を体験し、参加者同士で学び合いながら、私たち一人ひとりに何ができるのかを考えてみましょう。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsは、誰もがいつまでも幸せに暮らせる地球を作るための世界共通の道しるべです。実践塾では、現地体験とともに、このSDGsを手がかりに「持続可能なしまづくり」を考えます！

Day1  
【8/9】

Day2  
【8/10】

Day3  
【8/11】

- 来島・博物館等見学
- フィールド実習
- プランまとめ作業
- 開塾式(15時 開始予定)
- グループワーク
- プラン発表会
- 実践家による講義
- 修了式(12時 終了予定)

フィールド実習では、実践家の方のレクチャーを受けながら、社会・環境課題の現場体験などに取り組みます！（詳細は裏面参照）

※上記のプログラム(予定)につきましては、変更の可能性があります。予めご了承ください。  
※島内高校生は15時の開始までに開塾式会場(対馬市役所別館大会議室)にお越しください。  
※島外参加者は、8/9(土)10:10 博多港発、12:05 対馬厳原港着の九州郵船ジェットfoilで来島ください。  
※島外参加者のお帰りは、8/11(月)14:40 厳原港発、16:35 博多港着の九州郵船ジェットfoilをご利用ください。  
※長崎空港経由での来島及びお帰りを検討している方につきましては、必ず事前にご相談ください。



- 日程**：2025年8月9日(土)~11日(祝・月)の2泊3日  
**開催地**：長崎県対馬市豊玉町貝口/美津島町大山/美津島町久須保 等  
 ※ 宿泊:対馬リゾート(対馬市美津島町竹敷4-155)  
**対象**：高校生、大学生、短期大学生、専門学校生、大学院生  
**公募数**：島内高校推薦枠10名程度  
**島外公募枠10名程度**(うち高校生2名程度、大学生等8名程度)  
**参加費**：島内高校生 5,200円(食費相当額)  
**島外高校生及び大学生等 7,000円(食費相当額・保険料)**  
 ※ 自宅~対馬間の交通費は自己負担、対馬市内の移動・宿泊費無料  
**その他**：参加者には市長名で対馬グローバル大学修了証書を授与します。

### お申込方法

お申込みはQRコードから！  
申込期限：7月28日(月)



※島内高校生は学校経由でお申込みください。

## Day1【8/9】

対馬の魅力や現状、課題を知ろう

### ○来島・博物館等見学

来島後、昼食をとってから対馬博物館等を見学し、島の概要を把握します。

※来島便：10:10 博多港発、12:05 厳原港着  
九州郵船ジェットfoil

### ○開塾式(15時～)

※島内高校生は開塾式からの参加となります

### ○基礎レクチャー

【担当】対馬グローバル大学事務局

講義を通じて、対馬の現状・課題や実践塾の目的を確認します。

### ○実践家によるレクチャー

【講師】齊藤 ももこさん  
(プロフィールは下欄参照)

面積の90%を山が占める対馬ではイノシシやシカによる食害が深刻で、農業被害、生態系への影響や森林の下層植生の消失により土砂災害のリスクが高まるなど、地域の環境や暮らしにも深刻な影響を及ぼします。

講師の齊藤さんは、獣害対策のための捕獲に取り組みながら、捕獲した猪鹿をジビエやレザー加工品といった山の恵みとして活用するための法人を立ち上げて活動しています。対馬の有害鳥獣被害対策の現状や齊藤さんの取り組みに関するレクチャーを通じて、人間と野生生物の共生のあり方について考えを深めていきます。



齊藤 ももこ氏  
(里山獣医/一般社団法人daidai 代表理事)

福岡県北九州市出身。2013年、日本大学生物資源科学部獣医学科卒。卒業後、同2013年に地域おこし協力隊(対馬市島おこし協働隊)として対馬に着任。2016年、「獣害から獣財へ」をキーワードに、捕獲された猪鹿の革や肉の活用に取り組む一般社団法人daidaiを設立。2024年6月には自社の精肉・加工工場「対馬もみじぼたん」をオープン。猪鹿の被害の現状や対策、革や肉としての活用について学ぶことができる体験も提供している。

- ・ 一般社団法人daidai HP
  - ・ daidai Instagram
  - ・ 対馬もみじぼたん Instagram
- は右のQRコードから



## Day2【8/10】

実践的に学び、考えよう

### ○「貝口ビアパーク」でそばの種まき体験

【講師】貝口ビアパークプロジェクトメンバー

対馬では多くの集落で人口減少と高齢化が進んでいます。豊玉町の貝口集落では、「100歳まで生きる！元気な高齢者地域」をテーマに、住民主体の地域づくりが活発に進められています。「貝口ビアパーク」は、遊休農地を活用した地域交流の場で、住民が主体となり、そばづくりや交流イベントを行いながら、介護予防、異世代交流、文化継承といった地域福祉に取り組んでいます。

メンバーの指導のもと、対州そばの種まき体験や地域の方との交流を通じて、人びとがいつまでも元気に暮らせる地域づくりのあり方を考えます。



左上：そばの種まきの様子



右上：住民主体で整備した貝口ビアパークの海水浴場

### ○OMEET MEAT 体験 (シカの痕跡調査・罠かけ体験、ジビエ加工場見学)

【講師】齊藤 ももこさん

齊藤さんの案内で、実際の有害鳥獣被害の状況や罠の設置など被害対策の取り組みなどを現場見学・体験します。(美津島町大山・あそうベイパーク周辺)また、精肉・加工を行っている「対馬もみじぼたん」の工場を見学します。



シカの痕跡調査



対馬もみじぼたん(加工場)

### ○グループワーク

実践活動やレクチャーを踏まえて、対馬の現状・課題・魅力を踏まえながら持続可能な対馬を目指して「自分たちにできることは何か？」を具体的に考えていきます。

※宿舎～活動フィールド間はバスで移動します。  
※内容は参加人数や状況により変更する場合があります。

## Day3【8/11】

アイデアを発表しよう

### ○発表会・講評

3日間の体験や学びから考えたアイデアを塾長(対馬市長)や講師、行政職員に発表し講評を受けます。また、ほかの受講生の発表も聞いて、積極的に意見や感想を出し合ひましょう。

### ○修了式(12時終了予定)

※終了後、昼食をとってから島外参加者はお土産購入等の時間を設けます。島内参加者は昼食後、解散となります。

※島外参加者の帰りの便  
14:40 厳原港発、16:35 博多港着  
九州郵船ジェットfoil

## 「貝口ビアパーク」プロジェクト

長崎県対馬市の貝口地区で始まった「貝口ビアパーク」は、高齢化と人口減少に直面する限界集落の活性化プロジェクトです。住民グループが中心となり、放置された休耕地を活用して対州そば(対馬は日本で初めて大陸からそばが伝来した地と言われています)を栽培し、収穫祭やそば打ち体験などを実施。自分たちの手で海水浴場の整備にも取り組んでいます。地域内外の人々とも協力・協働しながら多世代交流の場を育て、あらゆる世代の人びとが元気に暮らせる地域を目指して活動しています。



## 対馬グローバル大学

対馬グローバル大学では、オンラインで対馬にまつわるweb講義を配信中です！実践塾参加者は、いつでも視聴できます！

対馬グローバル大学  
ポータルサイトはこちら

